



11月30日～12月15日の活動報告

●2022年度第2回新たな価値創出委員会

日時：11月30日(水) 12:20-13:45
会場：ANA クラウンプラザホテル金沢 (オンライン併催)
参加者：19名(会場9名、オンライン10名)

委員会の始めに北村委員長から挨拶があり、労働生産性を高めるためには、DX・GX(グリーントランスフォーメーション)などで新たな価値を創出してイノベーションを図り、高付加価値な産業を育成することが必要。最近、欧米に何度も行く機会があり、海外に比べ日本の自動化等の設備投資が遅れていると指摘した。

事務局からの事業計画の実施状況と評価・方向性の説明後、意見交換では、人材育成や新事業創出などで、企業も大学も連携して生産性を高めることが重要な時代になってきたと、複数の委員から意見が出された。

インターンシップやリカレント教育での良好事例の共有、シニア人材活用のためのリスキル教育、デザイン等で複数大学が連携した教育等について発言があった。

また、広域の産学官連携の取組みである未来共創フォーラム、Matching-HUBと北陸RDXなどの連携機会の活用、地域産業展示会の活性化、中小機構のJ-GoodTech(ジェグテック)と専門家派遣についても発言があった。

委員会での意見を参考に、今後の事業計画等に反映させていく。



(担当：坂井)

●新たな価値創出オンライン講演会

日時：11月30日(水) 14:00-15:00
形式：オンライン
参加者：104名(会場:16名、オンライン:88名)

富山大学学長 齋藤滋氏を講師に迎え「富山大学の産学連携の取り組み～北陸地域産業との連携～」と題し、新たな価値創出オンライン講演会を開催し

た。なお、本講演会は各商工会議所等の関係団体を通じて会員以外の方も含め多くの方が聴講した。

齋藤学長からは、最初に国立大学の状況と産学連携の推進の話があり、富山大学の学術研究産学連携本部の取組み、教育・研究・社会貢献の産学連携活動、北陸未来共創フォーラムを核とした北陸地域におけるイノベーション・エコシステムのスケールアップの取組みについて紹介があった。

また、経済産業省2021年度「産学連携推進事業費補助金(地域の中核大学の産学融合拠点の整備)」事業に採択されたアルミリサイクルについては、これまでの軽金属研究の取組みと今後目指すべき姿、創薬・ヘルスケア関係では、富山県「くすりのシリコンバレーTOAYAMA」創造コンソーシアム、先端抗体医薬開発センターおよび未病研究センターの設置について分かり易く説明があった。

最後に、富山大学では産学官民連携事業を積極的に進めており、北経連企業と連携を強めていきたいと講演を締めくくった。



(担当：坂井)

●北陸産学技術交流会(情報交換)

テーマ：「製造DX、AI活用による新たな価値を創出する適用分野」(主査：立山科学(株))

日時：12月1日(木) 13:30-15:00

形式：オンライン開催

参加者：13名(主査・北経連5名含む)

立山科学(株)との共催で、上記テーマで情報交換を行う技術交流会をオンライン形式で開催し、会員企業から8名が参加した。

開会において主査の技術本部 森喜代志執行役員からテーマ趣旨説明、参加者の自己紹介後、情報交換テーマの製造DX、AI活用に関する立山科学(株)の取組みについて紹介があった。

その後、各参加者からテーマに関連した情報提供、自社の取組みについての紹介等を行った。



(担当：坂井)

●2022年度第2回国際委員会

日時：12月2日(金) 12:20-13:30

場所：ホテル金沢(オンライン併催)

参加者：20名(会場8名、オンライン12名)

江守委員長は冒頭の挨拶で、為替や原油価格の乱高下等に起因し、日本、世界情勢は混乱している中、不断の企業努力を積み重ねる北陸企業の皆様に敬意を表された。為替に左右されない企業体質の構築が日本企業の1つの課題である旨、ご発言があった。

委員会では「2022年度 事業計画の進捗状況」について、活発な質疑応答がなされた。日韓共通の少子高齢化・人材不足、海外現地情勢報告セミナーでの海外進出先での悩み・失敗事例や中国の動向、外国人留学生の定着に向けての外国の歴史・宗教に対する考え方をテーマとした行事の企画の要望があった。女性活躍、高度外国人材等に関して、当社が他団体(商工会議所・同友会・大学等)と3県を跨ぐ経済団体として、連携を主導して欲しい旨の要望が出された。

今後の事業活動の中で鋭意検討することとした。



(担当：小島)

●西村経済産業大臣と北陸経済界との懇談会

日時：12月4日(日) 7:40-9:10

会場：ホテル日航金沢

西村経済産業大臣と北陸三県の経済団体との懇談会が開催され、当社からは金井会長が出席した。

金井会長は、「北陸地域の経済は持ち直しの傾向が継続している」、「エネルギー価格高騰の抜本的な対策として、原子力発電所の早期再稼働が重要であり、運転期間延長等も含め政府の支援をお願いしたい」、「地域経済活性化のためには、有望なスタートアップが数多く誕生することが重要であり、政府にも資金や人材面で支援をお願いしたい」と発言した。

西村大臣からは、「安全性が確認された原子力発電所は、地元の理解を得ながら再稼働していく方針であり、総力を挙



げて取り組む」、「スタートアップ支援については、人材育成をはじめ、資金調達、様々な規制を取り除きながら、地域の特徴を生かした動きが起きるような政策を実現したい」旨の発言があった。

(担当：小林)



●国内投資拡大のための官民連携フォーラム

日時：12月8日(木) 18:45-19:25

会場：首相官邸(オンライン併催)

日本経済再生に向け、総合経済対策を呼び水に、民間投資を最大限引き出すべく、政府と経済界、地方団体等が一堂に会し、国内投資拡大に向けた機運醸成のために「国内投資拡大のための官民連携フォーラム」が開催され、当社からは金井会長がオンラインで出席した。

金井会長は、「革新的な技術等による起業や、新事業の立ち上げは大都市圏に偏在しているが、地域から有望なスタートアップや、既存企業から多くの斬新な新事業が立ち上がることが地域経済の活性化、投資拡大につながる。当社では、産学官金が連携した北陸DXアライアンスを組織し、経産省の支援をいただきながら、起業促進や金融支援システムの確立等に取り組んでいる。今後このような取り組みをより一層強化していくので、資金や人材面での支援をお願いしたい。」と発言した。

各経済団体の代表者からは、投資拡大に向け積極的に取り組む旨の発言があり、最後に岸田総理から、「国内投資の拡大こそが、我が国の成長戦略の核心。今後、GX(グリーントランスフォーメーション)やDXのロードマップなど、スピード感を持って、計画を取りまとめ、実行に移していく。経済界には、政策を活用し、各地域において存分に投資を進めていただくことを期待する。」旨の発言があった。

会議の資料は、経済産業省ホームページに掲載されている。



<https://www.meti.go.jp/press/2022/12/20221208004/20221208004.html>

(担当：小林)

●第29回 中部・近畿経済産業局との懇談会

日時：12月6日(火) 12:50-15:00

場所：ザ・グランデュアーズフクイ

参加者：62名(来場40名、オンライン22名)



冒頭、金井会長は挨拶の中で、エネルギー価格高騰の抜本的な対策として、原子力発電所の運転期間の延長、既設発電所の早期再稼働に向けた支援とともに、「地域の持続的な発展には、イノベーションの連続的な創出が不可欠。有望なスタートアップが数多く誕生することが重要」とし、資金や人材面での積極的な支援をお願いしたいと発言した。続けて、中部経済産業局の田中局長、近畿経済産業局の中嶋総務企画部長からご挨拶があった。

その後、北経連からは『第五次中期アクションプランの取組状況』として「社会基盤整備の促進」「労働生産性の向上と成長」「ダイバーシティ&インクルージョンの推進」について、経産局からは「総合経済対策等における経済産業省の取組」「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の概要」について、それぞれ各種施策の取組状況を報告した。

その後、4つの重要課題①コロナ禍・物価上昇等の現下の経済状況への対応、②カーボンニュートラルの実現に向けた取組、③DXの推進に関する取組、④オープンイノベーションやスタートアップへの支援等の持続的な成長に向けた取組 について活発な意見交換を行い、相互の協力・連携の方向性を確認した。

(担当：宮西)

●2022年度第2回観光委員会

日時：12月7日(水) 12:00-14:10

会場：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)

参加者：17名(会場14名、オンライン3名)

米沢委員長は冒頭の挨拶で、北陸DMOの「あるべき姿」の策定にあたり、他の観光振興団体等と戦略と方向性が重ならないように論点整理が必要であることと、本日提案するワーキンググループメンバー

の人選と検討の方向性に関する議論を経て、ワーキンググループを設置する旨発言した。

事務局から議題の「2022年度事業計画の実施状況と評価・方向性」、「北陸DMOの検討の方向性」について説明した後、審議を行った。

委員からは、北陸DMOが海外の富裕層をターゲットとすることに賛同の声が多く出されたほか、海外の方に刺さるブランド化をコンセプトにすべき、オーバーツーリズム対策としてDXを活用した人の分散化の社会実験構想、北陸三県の魅力を統合する高度なマーケティング・ブランディング技術の必要性、SDGs・ヴィーガン・ハラール対応等の重要性に関する指摘があり、今後、これらの指摘を参考に北陸DMOの検討を進めることとした。

審議後には、BIPROGY(株)北陸支店長の平原賢一氏を招き、「観光・旅行ビジネスにおけるDXとは」をテーマに講演会を開催した。平原支店長からは、DXを活用した価値を生み出し続けるサイクル(仕掛け・メカニズム)の重要性のほか、同社が様々な事業者と連携して取り組んでいる誘客のための多くのDX活用事例について紹介された。



(担当：鳥山)

●北陸3県修学旅行オンライン商談会

日時：12月7日(水) 10:00-16:00

形式：オンライン

北陸三県修学旅行誘致推進プロジェクト(とやま観光推進機構、石川県観光連盟、福井県観光連盟、JR西日本、北経連)では、オンライン商談会を開催し、首都圏や関西圏等の旅行会社約50名と北陸からは約50社の観光事業者が参加した。オンライン開催の利点を生かし、中国地方など東京・大阪から離れた地域からも旅行会社の参加があり、北陸の修学旅行を広くPRした。

2024年春の北陸新幹線敦賀開業を控え、当プロジェクトでは、さらに多くの学校から北陸が選ばれるよう、誘致に取り組んでいく。

(担当：日野)

●留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト

「Link KAGAYAKI」コンソーシアム キックオフ

「留学生北陸3県合同企業説明会」

日時：12月8日(木)

場所：金沢商工会議所

北陸地域における産学官金プラットフォーム「北陸未来共創フォーラム」は、高度外国人材である外国人留学生の北陸地域への就業・定着をテーマの一つとしている。その活動である『留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」』と、経済産業省「北陸高度外国人活躍地域コンソーシアム」の、2つプロジェクトが、来年度、連携して事業を進めていくことになり、そのキックオフイベントが10時より開催された。

まず、金沢大学森本副学長、片岡学長補佐から「北陸未来共創フォーラム」、「Link KAGAYAKI」の事業内容を説明し、田中 中部経済産業局長、常葉 経済産業省貿易協力局審議官が来賓として挨拶した。

その後、北陸電気工事(株)、(株)ソディックが留学生採用事例紹介を紹介し、(株)福井銀行、(株)白山に就職した留学生出身者が、現在の活躍状況を報告した。

午後からは、北陸3県の留学生を対象とした合同企業説明会が初めて開催され、当会の新開 常務理事が開会の挨拶をした。北陸3県の25社が出展、7大学70名の留学生が参加し、企業の担当者から熱心に話を聞いていた。



(担当：高島)

●2022年度第2回社会基盤委員会

日時：12月9日(金)

会場：ホテル日航金沢(オンライン併催)

参加者：16名(会場10名、オンライン6名)

光野委員長は冒頭挨拶で、北陸新幹線の敦賀・新大阪間に関して、「報道等で行われている『事実上の着工』を含めた2023年度当初の着工に向けた動向を注視し、2030年ごろまでの一日も早い全線開業を目指し、関西での機運醸成に全力を尽くしたい」と発言した。

議題「2022年度事業計画の実施状況と評価・方向性」について、事務局から説明し、委員からは敦賀・大阪間の着工の状況に対して関心が高い旨の発

言があった。

委員会終了後、「物流DXを知り、業務の効率化に活用する方法」と題して、NX総合研究所 宮里隆司氏より講演をいただき、社会基盤委員会の出席者に加え、オンラインで23名の会員が聴講した。

業務において物流DXを成功させる秘訣として、①課題先行、②ユーザー視点、③リスクリング、④リフレーミングである等の説明があり、聴講者からは「大変わかりやすい」との評価をいただいた。



(担当：高島)

●2022年度第2回総合対策委員会

日時：12月14日(水) 12:00-14:00

会場：ホテル日航金沢(オンライン併催)

参加者：24名(会場15名、オンライン9名)

稲垣委員長は冒頭挨拶で、北陸地域の経済状況と東京一極集中の打破に向けた考え方について発言された。

その後、事務局から、議題「2022年度事業計画の実施状況と評価・方向性」、「2023年度事業活動方針(案)」について説明後、審議を行った。

「2022年度事業計画の実施状況と評価・方向性」について、委員からは「北陸の魅力ある企業を知ってもらうために、北陸のシェアトップ150をもっと活用すべきではないか」、「留学生の定着のためにもっと実効性のある施策を検討、深堀りすべきではないか」等のご意見をいただいた。

「2023年度事業活動方針(案)」について、委員からは、「北陸新幹線敦賀開業により、富山・福井間が1時間でつながる。富山～福井を1つのメトリポリタンエリアとみなして、三県一体となった取組み



を進めてはどうか」、「三県の他の経済団体と連携して施策を進めてはどうか。各経済団体との橋渡しが北経連の役割である」、「脱炭素社会の実現に関して、戦略性のある表現に修正してはどうか」等のご意見をいただいた。

「2023年度事業活動方針」は常任理事会で決定後、来年1月25日の新春経済懇談会で発表する。
(担当：小林)

今後の行事予定

◆第355回常任理事会

日時：12月21日(水) 15:00-16:30
場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)
対象：副会長、常任理事に案内済
(担当：小山)

◆新春経済懇談会

日時：2023年1月25日(水) 15:00-16:30
場所：ANAクラウンプラザホテル金沢(オンライン併催)
対象：全会員に案内済
(担当：小山)

◆【参加者募集】北陸産学技術交流会(2件)

新たな価値創出委員会では、テーマ応募頂いた会員(主査)と共催で、下記の2件のテーマで開催する技術交流会の参加者を募集します。

本技術交流会は、テーマにご関心のある企業実務者および大学研究者等が情報交換を通じて交流を深める場として開催致します。

貴社(貴団体)の関係しそうな部署等へご案内頂ければ幸いです。

テーマ「AI・データ分析を活用したマーケティング支援ソリューション」
(主査：福井工業大学)

募集チラシURL：
<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/e5e5d32f09cd7e08a72c745339bd4de6.pdf>

日時：2023年2月1日(水) 12:00-14:00
場所：福井工業大学 福井キャンパス(リアル開催)
概要：本学では、地域の小売店や自動販売機運営会社から提供を受けたPOSデータを対象にロケーションサービス、地理情報システム、Twitterを活用し、人流、地域従業者数、気象などオープンデータと掛け合わせたAI解析による商圈分析、消費者ニーズ分析、マイクロマーケット分析、及びPOSデータ分析の

出口として小売店におけるアバターロボット受容性の研究を推進しています。

本交流会では、本学での取り組みを紹介し、POSデータ活用の課題、POSデータ分析による新たな価値創出についての意見交換を希望します。

参考：本交流会終了後に、福井工業大学AI&IoTセンターのシンポジウムを開催予定。ご関心の方は引き続きご参加頂ければ幸いです。(詳細は別途案内予定)

対象：会員企業の企画・営業担当者、技術者、経営者など幅広い方々の参加歓迎

定員：15名[先着順]

申込：2023年1月12日(木)までに下記のURLまたは右側QRコードから申込(定員に達し次第〆切)

<https://forms.office.com/r/DeXwHenST6>



テーマ「ワイヤレス給電技術の適用・応用分野」
(主査：北陸電機製造株)

募集チラシURL：

<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/a34508de9650862a7779126da98fe1cc.pdf>

日時：2023年2月10日(金) 13:30-15:00頃

場所：オンライン開催(Teams使用)

概要：ワイヤレス給電は、現在、電気自動車、AGV(無人搬送車)、携帯電話など様々なシーンで広がりをみせ、今後ますます発展が期待される技術です。当社ではIHインバータの技術を応用したワイヤレス給電の基礎研究を行っており、当該技術を活かしたアプリケーションを検討しております。

本交流会では当社の取組を紹介するとともに、ワイヤレス給電技術を活用した新たな価値の創出、製品・設備などのアイデアなどについて幅広い意見交換を希望します。

対象：ワイヤレス給電に関心がある北経連会員団体の企業実務者・大学研究者

定員：10名[先着順]

申込：1月13日(金)までに下のURLまたは右側QRコードから申込(定員に達し次第〆切)

<https://forms.office.com/r/vaCMUv0Gi7>



(担当：坂井)

お知らせ

■中部経済産業局北陸支局からのお知らせ

北陸電力(株)による電気料金値上げ認可 申請に係る公聴会の開催

【日時】2023年2月14日(火)10:00から
(2月15日(水)予備日(※))
※意見陳述人が多数の場合には同日にも
開催します。

【場所】富山県民会館
(富山県富山市新総曲輪4番18号)
※インターネット(YouTube)による同時
中継を行います。

【事案の要旨】

- 申請者：北陸電力(株)
- 申請の概要：現行の電気料金(規制部門)を
平均45.84%引き上げるほか、その他の供給条件
の変更等に伴う特定小売供給約款の変更を行う。
- 申請者からの申請資料等については、経済産業
省のHPに掲載しています。

<https://www.meti.go.jp/press/2022/11/20221130001/20221130001.html>

- その他意見陳述の申出方法、傍聴について等の
詳細につきましては、以下の経済産業省HPに
て、ご確認いただきますようお願いいたします。

<https://www.meti.go.jp/press/2022/12/20221205014/20221205014.html>

(担当：新開)

■労働局からのお知らせ

12月は「職場のハラスメント撲滅月間」

厚生労働省では、年末に向けて業務の繁忙、職場
外での飲食の機会の増加等により、ハラスメントが
発生しやすいと考えられる12月を「職場のハラスメ
ント撲滅月間」と定め、集中的に取り組めます。

「ハラスメント対応特別相談窓口」を開設

セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、
妊娠・出産・育児休業等を理由とするハラスメント
等について、労働者や企業からの相談に対応します。

詳しくは、各県労働局へお問い合わせください。

富山労働局

https://jsite.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/newpage_00620.html

石川労働局

<https://jsite.mhlw.go.jp/ishikawa-roudoukyoku/content/contents/001315685.pdf>

福井労働局

<https://jsite.mhlw.go.jp/fukui-roudoukyoku/content/contents/001312071.pdf>

(担当：日野)

■経済産業省中部経済産業局からのお知らせ サーキュラーエコノミー“生存戦略セミナー” ～「ものづくり中部」における成長志向型の資源 自律経済の実現に向けて～

【日時】2023年1月17日(火)13:30-17:00

【形式】オンライン開催(Microsoft Teams)

【内容】

- ・講演1「循環経済がビジネスを変える～ものづくり
視点からのサーキュラーエコノミー～」
東京大学大学院工学系研究科
人工物工学研究センター教授 梅田靖氏
- ・講演2「サーキュラー社会実現の鍵を握る価値デザ
イン経営」
住友商事グローバルリサーチ(株)
代表取締役社長 住田孝之氏
- ・サーキュラーエコノミーの取組事例の紹介
- ・中小機構の支援施策のご紹介

【主催】経済産業省中部経済産業局(共催：北経連 他)

【詳細】

https://www.chubu.meti.go.jp/d21kankyo/event/4fy/20230117seizonsennryaku_seminar/index.html

【申込】1月13日(金)までに下のURLから申込

<https://www.chubumeti-circular-economy.go.jp/ce>

【問合せ】セミナー事務局(㈱ダン計画研究所内)

TEL：06-6944-1173

Mail：info@chubumeti-circular-economy.go.jp

(担当：坂井)

■中小企業基盤整備機構からのお知らせ

【参加者募集！】円安環境下の輸出、ビジネス 拡大を目指す中小企業向け海外CEO商談会(先端 産業・エネルギー分野)

エネルギー、先端分野等の海外企業72社との商談
会「先端産業、環境技術CEO商談会」を開催します。

環境技術CEO商談会には、エネルギー、省エネ分
野に加え、水処理・廃水処理、カーボンニュートラル
分野で国内中小企業との取引を希望する海外の大手
企業、商社等23社が参加します。

先端産業CEO商談会には、航空分野のほか、ロボ
ット、ファクトリー・オートメーション、AI、IoT分
野で国内中小企業との取引を希望する海外の大手企
業、商社等49社が参加します。

日本製品の購入、代理店販売、日本企業への生産委
託を希望する数多くの海外企業が参加します。輸出
拡大、ビジネス拡大を目指す中小企業は奮ってお申
込みください。

【日時】2023年2月6日(月)～2月17日(金)

【対象】海外販路開拓、海外展開を目指す中小企業



【形式】オンライン

【主催】(独) 中小企業基盤整備機構

【対象国・地域】インド、インドネシア、韓国、シンガポール、タイ、台湾、ベトナム、フィリピン、マレーシア

【参加費】1商談につき5,500円(税込・通訳費含む) ※商談がアレンジされた場合

【詳細】

https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/lp_ceo/ceo_top/

【申込】下のURLよりお申し込みください。

<先端産業CEO商談会2022>

https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/lp_ceo/ceo_innovative/

<環境技術CEO商談会2022>

https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/lp_ceo/ceo_ecotech/

【申込締切】仮申込 2022年12月23日(金) 正午
本申込 2022年12月23日(金) 17時

【問合せ】

<先端産業CEO商談会運営事務局>

TEL : 03-6407-9367

Mail : innovative-ceo2022@pasaia.co.jp

<環境技術CEO商談会運営事務局>

TEL : 03-6407-9377

Mail : ecotech-ceo2022@pasia.co.jp

(担当 : 小島・高道)

以 上